

GIGAスクール構想の次期展開について

①1人1台端末の活用状況と課題

	項目	基準値 (R3.2)		実績値 (R6.12)	
		小学校	中学校	小学校	中学校
教員のICT活用状況	1日1回以上タブレットPCを活用しているクラスの割合	27.2	49.4	65.1	91.3
	週1回以上タブレットPCを持ち帰るクラスの割合 ※基準値はR4.2	※34.9	※37.4	34.2	52.8
パイオニア校	ICT機器を活用するにあたって、積極的に研修（校内・校外）に参加していると思う教員の割合	83.7	75.0	63.9	68.4
	授業の中でICT機器を活用したいと感じている教員の割合	100	98.3	100	96.1

※ICT機器の稼働率・使い勝手に関するアンケート、小牧市学校教育ICTパイオニア校事業の推進にかかるアンケートより

【アンケート結果から】

- ・授業でタブレットPCを活用する割合は小中学校とも大幅に増加している。
- ・令和6年4月よりタブレットPCを「最低月1回」から「日常的」に持ち帰り活用していただくよう依頼した結果、中学校の持ち帰り率は増加した。
- ・ICT機器の研修は希望者が一通り研修を受講した結果、減少傾向にある。

○教員のICTスキルと負担

- ・教員のICT活用能力に差があり、端末活用が十分に進まないケースがある。
- ・新しいツール導入に伴う準備や管理業務の増加により、教員の負担が増す懸念がある。

○端末の物理的・技術的課題

- ・故障やバッテリー劣化など、端末の維持管理に関する課題。
- ・安定した通信環境の維持、クラウドサービスの制限など、技術的な障壁

GIGAスクール構想の次期展開について

②教員のICT活用指導力向上のための施策

○ICT活用支援業務委託期間延長

- ・令和4年4月1日から令和7年3月31日までの期間、各校にICT支援員を配置し、「授業支援」、「ICT機器の活用促進支援」、「教員研修」、「先進事例やICT活用支援に関する助言」、について支援を委託していた。現場からの要望も多いことから、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間の委託の延長を行った。
- ・1校あたり月4回（年間合計1200回）※市内小中学校25校
- ・1日8時間（午前8時30分から午後4時30分）

○教員を対象とした操作研修

【令和6年研修実績】

- ・「ロイロノート」「Microsoft 365」「新たに導入した機器（iPad・プロジェクタ・電子黒板・プログラミングソフト）」「デジ教科書」「学習Eポータル L-gate」「データ整理」

【令和7年度研修実績（予定含む）】

- ・「ロイロノート」「管理者向け生成AI」「生成AI操作」「iPad標準アプリ」「新たに導入した機器（iPad）」

③1人1台タブレット端末更新とICT環境の整備

- ・第1期での端末整備では小学校はiOS端末、中学校はWindows端末と、小学校と中学校で異なるOSを使っていた。バッテリーの持続時間、故障率、使い勝手などを総合的に考慮した結果、第2期（令和6年9月以降）に導入する端末については小学校・中学校ともにiOS端末に統一して導入することとしました。
- ・各学校のインターネット回線の通信速度を令和7年9月より1Gbps→10Gbpsに増幅します。
- ・令和7年度端末更新の時期にあわせてフィルタリングソフトの見直しを行います。